

表 1040 糖尿病の有無 治療方法(新分類)別 (透析患者全体)

治療方法 (新分類)	糖尿病なし	糖尿病あり	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析	89,333	113,458	202,791	30,913		233,704
(%)	(44.1)	(55.9)	(100.0)			
Off-line HDF	2,087	1,856	3,943	694		4,637
(%)	(52.9)	(47.1)	(100.0)			
On-line HDF	25,403	25,414	50,817	8,299		59,116
(%)	(50.0)	(50.0)	(100.0)			
Push/Pull HDF	22	29	51	15		66
(%)	(43.1)	(56.9)	(100.0)			
バイオフィルトレーション	113	108	221	31		252
(%)	(51.1)	(48.9)	(100.0)			
IHDF	4,119	5,366	9,485	1,243		10,728
(%)	(43.4)	(56.6)	(100.0)			
血液濾過	8	10	18	1		19
(%)	(44.4)	(55.6)	(100.0)			
血液吸着透析 (リクセル等使用)	980	127	1,107	248		1,355
(%)	(88.5)	(11.5)	(100.0)			
在宅血液透析	404	135	539	78		617
(%)	(75.0)	(25.0)	(100.0)			
腹膜透析 (CAPD)	1,921	2,023	3,944	1,029		4,973
(%)	(48.7)	(51.3)	(100.0)			
腹膜透析 (APD)	1,002	1,085	2,087	550		2,637
(%)	(48.0)	(52.0)	(100.0)			
腹膜透析 (CCPD)	383	391	774	231		1,005
(%)	(49.5)	(50.5)	(100.0)			
合計	125,775	150,002	275,777	43,332		319,109
(%)	(45.6)	(54.4)	(100.0)			
記載なし						
(%)						
総計	125,775	150,002	275,777	43,332		319,109
(%)	(45.6)	(54.4)	(100.0)			

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

*糖尿病ありとは、原疾患が糖尿病性腎症または、糖尿病の既往がありの患者。

糖尿病なしとは、原疾患が糖尿病性腎症以外で且つ糖尿病の既往がない患者。

記載なしとは、原疾患と糖尿病の既往いずれも記載のなかった患者。

不明とは、上記以外。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

##D3211##

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2016年調査